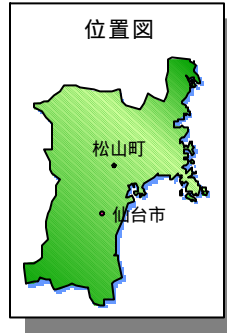


特集：おらほの農地集積

五輪崎地区



1. 事業の概要

- ・事業名 低コスト化水田農業 大区画ほ場整備事業
- ・関係町村 松山町・鹿島台町・南郷町
- ・関係土地改良区 志田郡桑折江土地改良区
- ・工期 平成4年度～13年度
- ・受益面積 325ha
- ・総事業費 5,972,000千円
- ・組合員数 273名
- ・担い手等農家 24戸（内4組織）
- ・高生産性農業区 300.20ha
- ・農地集積面積 167.25ha
- ・農地利用集積率 51.5%

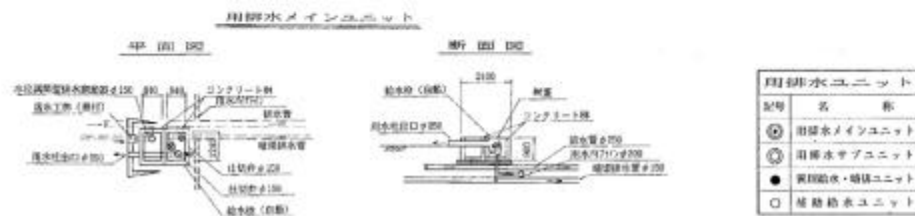
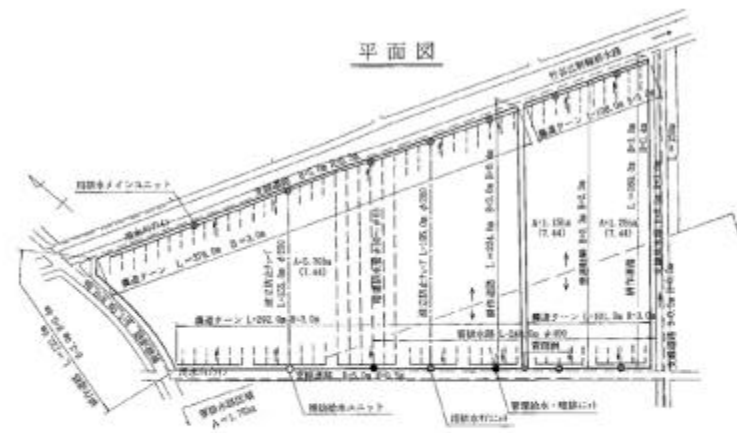
2. スーパー大区画ほ場の概要

【経緯】 ほ場の立地条件を考慮し、区画の大規模化に伴い用排水施設の集中化、農道ターンなどの新技術や大型の機械化営農体系の導入を想定し、近未来型の大区画ほ場のあり方についてハード・ソフト両面から関係団体と一体となり検討したものである。

- ・施工年度 平成8年度（H7年度UR補正予算）
- ・区画形状 長辺 376.0m（292.0m）
短辺 224.0m（122.0m）A = 5.3ha
- ・道路 長辺方向支線道路（4/5） 農道ターン（B = 4.0m）
短辺方向耕作道路（2/3）
- ・用水 パイプラインによる圧送 給水施設 主給水栓 5ヶ所
補助給水栓 2ヶ所
- ・排水 排水口 8ヶ所 幹排へ直接排水 5ヶ所
支排へ排水 3ヶ所
- ・暗渠排水 水間 8ヶ所 幹排へ直接排水 5ヶ所
支排へ排水 3ヶ所
- ・その他 用排水施設の一ヶ所集中化 風波防止チューブによる浮首対策



農道ターンを利用した農作業



3. 21世紀型水田農業モデルほ場整備促進事業の概要

【農地集積目標】

当地区は、4集落に大別されており各々の集落面積の60%を目標に定めて、相乗効果が遺憾なく発揮され担い手等の育成・農地の集積に責任をもって達成された。

【土地利用計画】

・集積面積（単位：ha）

担い手	計画策定時【目標】【集積率56.1%】			平成11年度まで【集積率：51.4%】		
	個別(6戸)	生産組織(5)	計	個別(20戸)	生産組織(4)	計
自己所有地	21.8		21.8	41.86	27.69	69.55
賃借権設定	13.0		13.0	34.50		34.50
基幹作業受託	8.8	123.0	131.8	34.28	15.86	50.14
計	43.6	123.0	166.8	110.64	43.55	154.19



新たなシステムに向かって

4. 営農推進活動

従来の麦・大豆の土地利用型転作物から、高収益性土地利用型商品作物である「たまねぎ」の栽培を汎用化された大区画ほ場で行い、地区の転作の推進に寄与している。

また、収穫期には「親子たまねぎ収穫体験ツアー」を実施し、近郊市町村からの参加者に好評を博している。



たまねぎ 1袋詰め放題

～ 新事業を集積の追い風に ～ (新在様式)

志田郡桑折江土地改良区理事長 佐藤 慎

「今年の正月は、物足りないほどゆっくりでしたが、去る1月10日、地区内のある集落実行組合の総会で顔を合わせたK換地委員の偽らざる心境の一端を聞くことができた

-なるほどそうたるうなあ- わたしもすぐ彼が言わんとすることが理解できた
11年の8月までは、21世紀事業の要件をクリアする目処を立てようという五輪崎地区としての方針に沿い地区内4集落それぞれの集落枠の中で汗を流すことの約束が確認され、全体集積目標を51.5%以上と設定したのは平成10年12月28日夜に開かれた地区換地委員会でのことだった

換地委員のなかでも農外に働く人が殆どで、集中的に取り組める時期といえば正月休みしかなかったのである
まさに1年前の正月は換地委員にとって「めでたくも下くらいなりおらが春」であつたらうと思う「ご苦労さま」以外の言葉はない

「集落一農場」という言葉、字句をよく見聞きするが素晴らしい発想だと思う しかしそれにはそれなりの条件整備が不可欠であることは言を待たない

そして何よりも求められるのはわたしたちの意識の変革であるが、既にわたしたちは他に先駆けてほ場整備事業に取り組み99%の進捗にたどり着いた実績があるし、連担集積のソフト事業も目標に達し「変革」という新しい風は吹いているはずである

平成11年度からスタートした水田農業経営確立対策事業は基盤整備をした汎用型の高いほ場が最適、10ha以上の団地化を図り担い手集団がそのまま作業集団となりブロックローテーションを設定した集落もあり地域の合意形成が裏を返せば担い手への信頼度の高まりを物語り、ブロック設定への取り組みが連担集積への追い風ととらえるべきではないか

正月ボケと失笑を頂戴するかもしれないが集落農場という視点が農家の意識のなかに芽生えていることが伺え「集落一農場」への模索は始まっていると見る(終)

- 問い合わせ先 -

古川農林振興事務所農業農村整備部 古川地域農地集積指導チーム TEL 0229-91-0701 内線 486
志田郡桑折江土地改良区 TEL 0229-55-2361